

授業科目名	山口県地域医療学1
授業科目名(英)	Community Health Care Pharmacy
教員名	頬岡 克弘、山崎 博史、廣實 清司
開講年度学期	2021年度 後期
曜日時限	月曜3限
開講学科	薬学部薬学科
授業形態	講義
単位数	2.0
学年	3年
科目区分	専門科目
単位区分	必修
授業概要	<p>【実務経験教員による授業】</p> <p>将来、薬剤師として山口県地域の医療機関の多職種が連携・協力する患者中心のチーム医療に積極的に参画することが期待されている。そのために、チーム医療における多職種の役割と意義を理解するとともに、情報を共有し、より良い医療の検討、提案と実施ができるよう的基本的事項を修得する。そこで、本講義では地域医療と薬剤師の責務に焦点を置き、在宅医療、予防医療、救急医療や災害対策など現在取り組まれている活動に関して、長く病院に勤務する薬剤師が、その知識と実務経験に基づいた講義および演習を行う。</p>
達成目標	<p>地域医療と薬剤師の責務と取組みに関する知識を習得し理解した上で、説明・討議ができること</p> <p>授業回数の3分の2以上の出席した者を成績評価の対象とする。</p>
成績評価方法	<p>成績評価は以下の項目および授業態度・意欲等を総合的に勘案し判断する。</p> <p>評価配分</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆レポート : 40% (未提出や提出期限の遅延などは減点) ◆定期試験 : 60%
教科書	なし。資料を適宜配布する。
参考書	なし。資料を適宜配布する。
履修上の注意	授業内容は多岐にわたるため、各回ごとに復習をしっかり行い、知識の定着を図ること。
授業計画	<p>授業内容 主なモデル・コアカリキュラムの項目</p> <p>我が国の医療体制の現状と問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者社会から超高齢者社会への移行を理解し、医療の構造改革を学ぶ ・わが国の医療制度、医療経済と医薬品、医薬品の流通 ・地域医療の現状を理解し、その問題点を学ぶ <p>B-(4)-①-1~3, 6 B-(4)-②-1, 2</p>
第1回	<p>医薬分業と薬剤師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分業までの経緯を学ぶ ・地域における薬局の機能と業務について理解する <p>A-(1)-④-3 B-(4)-①-1~6</p>
第2回	<p>セルフメディケーションと薬剤師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病に対する薬剤師の役割について理解し、薬剤師がセルフメディケーションに関わる重要性について学ぶ ・セルフメディケーションにおける薬局の役割について理解する ・地域における疾病予防、健康維持増進、セルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を理解する <p>A-(1)-②-6 B-(4)-①-4 E2-(9)-1~3, 5~7</p>
第3回	<p>在宅医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護の目的、仕組み、支援内容および患者の特性と現場の実態を理解する ・地域における介護サービスや介護支援専門員等の活動と薬剤師との関わりを理解する <p>B-(4)-②-2 F-(5)-①-1~3 B-(3)-①-5 B-(4)-②-2</p>
第4回	<p>多職種連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療における医師の役割について理解する ・身体の病的変化を知る <p>F-(5)-④-1, 2 B-(4)-①-5</p>
第5回	<p>災害時におけるチーム医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療スタッフにおける薬剤師の役目 ・災害時の医薬品の適正管理および感染予防における消毒薬の適正使用推進・指導 <p>E1-(2)-① B-(4)-①-5</p>
第6回	<p>救急医療体制と薬剤師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急医療における薬剤師の役割について理解する ・医療機関におけるチーム医療について理解する <p>B-(4)-①-5 F-(5)-④-1</p>
第7回	<p>地域医療と病院薬剤師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療で病院薬剤師の役割を学び、その実際を理解する。特に山口県の状況を取りあげる ・地域医療と多職種連携 <p>A-(4)-1~3 B-(4)-②-1</p>
第8回	<p>市中感染と薬剤師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抗菌化学療法認定薬剤師に求められる職能と市中感染における薬剤師の役割について学ぶ

	E2-(7)-③-9 F-(5)-②-2
第10回	地域における医療関連施設の役割と業務内容の特徴・現況 ・歯科領域における感染制御を理解する C8-(3)-⑤-1, 2 E2-(7)-③-9
第11回	薬剤師による臨床的医療貢献 ・薬剤師の観点から考えるチーム医療への貢献 ・薬剤師の専門領域の活かし方とその留意点を理解する F-(4)-①-1~9
第12回	病棟における薬剤師業務 ・チーム医療における薬剤師の役割とその意義を理解する ・臨床薬物治療における薬剤師、医師および看護師等の連携について理解する A-(4)-1~3 F-(1)-③-5 B-(4)-②-1, 4, 5
第13回	地域医療（おもに病院）における、がん治療（病態・画像診断・治療） ・医療チームの一員として、医師・看護師等の医療スタッフと治療目標と治療方針の理解 ・がんにおける薬物治療の特徴とそのポイントの理解 F-(4)-①-6, 7, 9
第14回	多職種連携 ・薬剤師に対する医療での位置づけに関して、介護士の対場から概説する ・地域医療での介護士の役割について理解する A-(4)-1, 2
第15回	コロナウイルス感染（症）について B-(4)-②-4 D-(2)-①1, 2 D-(2)-②1, 2, 3, 4
第16回	定期試験 ・筆記試験（問題は廣實、山崎および頼岡による3名の教員が分担し作成する）
注意	本授業は、授業内容の特性（さまざまな専門領域の講義）がから、3名の実務経験教員のみならず外部講師を招聘しての授業形態である。そのため授業担当、順番等が変更となる場合がある。
オフィスアワー	【山崎に対する質問等】 通常、病院勤務（授業日以外は大学不在）のため、e-mailでの受け付け 【廣實に対する質問等】 通常、病院勤務（授業日以外は大学不在）のため、e-mailでの受け付け 【頼岡に対する質問等】 月曜～金曜（10時～16時）、頼岡研究室またはe-mailでの受け付け なお、会議、出張等で不在の場合があるので、必ずe-mailや授業時に事前連絡すること
ナンバリングコード	
授業コード	99P4328